

郷土紹介



無量寺

吟磧和堂

江戸時代、用賀村だけでなく、近隣村々や遠く高円寺、入間（調布）の村人からも「用賀の観音さま」として信仰されていた無量寿寺は淨土宗（親西派）に属し、正式の名は崇顕山観音院無量寺。

今から約四百五十年前、光蓮社明譽上人無量壽広和尚により開山されたお寺ですが、その第十九世に吟碩和尚ぎんせきと云う中興の人がいました。

この和尚さんは生来驚天
 人^{ひと}で、勤行に熱心な事は
 勿論、寺本堂の大修理をし
 たり、村内の争い事を穩便
 に解決する為、村人の相談
 相手となつたり、近村の子

供進を兼ね手習いと云讀み
書きを指南して、文字通り
寺子屋のお師匠さん役まで
引き受けて村人より、大變
尊敬されていた様です。

その業績はいつとなく、滯役人まで伝わり、文化十四年（一八一三）には金志両を彦根藩より褒美として貰い受けています。和尙六十一オの時です。

吟磧和尚はその五年後、文化十五年に亡くなりまし
たが、翌年、寺子屋に学ん
だ弟子達は、和尚を慕い、
「筆子かきこ中ちゆう」という形で頌徳
碑を建てました。そして、
約百七十年の歳月が流れ、
今、この碑は、無堂寺の山
門を入って、本堂、観音堂
を正面にした大銀杏の手前
左側に、ひっそり建ってい
ます。

(飯田)

第五出張所

玉川第五出張所が、現在
地（玉川台三ノ十八ノ十八）
に置かれて、二十年以上
になります。今では管内
の人口が五万人を超え、ま
た職員も二十名の、とても
規模の大きい出張所にな
りました。

最近では、OA機器を導
入したり、窓口で取り扱
う事務が日々増加し、複
雑多岐になり、職員は
その対応に追われ、今
日この頃です。何と
言っても、基本はあ
くまでも心の通うた
民間サービスです。

中村所長はじめ職員一同の精神でより一層地域の方に親しまれる出張所を目指して頑張っています。(渡部)



ひろは発行も今回で十三回目、従来の号は……うちに道がある、うちに学校や公園がある、うちにみどりの広場がある……野々、私たちのまちを主として、物の角度から考えてみました。が、本号はちよつと視点を交えて、まちで生活している人々を採り上げてみようとして編集委員一同張り切つてはみたものの、多様化した現代社会、人々の問題はとても難かしいテーマ、大変頭を悩ました。

人がつくる、人が支える、人が交わるまちについて今後共、皆様と一緒を考えたいと思います。ご意見大歓迎です。(飯田)

人がつくる人が支えるまち

みんなであ

活動する

相談する

考
える

生活保護
老人問題
無職証明 など

民生兒童委員
30名

青少年の健全な育成
青少年対策地区委員 51名
青少年委員 5名

判らない時
玉川第五出張所

みどりのこと
緑化委員 11名
安全
安全委員 11名

健康のこと
健康づくり委員11名

町をきれいに
美化清掃委員11名

ひろば編集委員 8名

お互いの親交
近所の問題

町会 5町会

和會學子

(8) 血行無阻、氣血流通

防

日本舞臺

(作図 鈴木堅)

ピッカピカの小学校1年生 交通事故にはくれぐれも ご注意を!!

筆耕・カット 折原